

図1 授業研究評価表

| 授業研究の評価表 | | 班 氏名 | |
|------------|--|--|--|
| 授業の概要 | 指導過程は適切であったか | どのように修正すればよいか | 残された問題と改善策 |
| 1. てんびんの提示 | <ul style="list-style-type: none"> 教師の無言の提示が児童に大きな興味、関心を与えた。 入り方はいろいろあるがズバリ入ってよかった。 意欲が喚起される提示であった。 | <ul style="list-style-type: none"> 箱などで見えなくして、突然見せる方法もよいのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> 自由に子どもが活動するのはすばらしいが、どこかに子どもの考えをまとめたり、問いかけたりする場がほしかった。 ノート指導。 「目もり」はどう取扱うか。 |
| 2. 学習課題の把握 | <ul style="list-style-type: none"> 提示した上皿でてんびんの働きを予想させたことはよかった。 重さをはかる方法ということについては、子どもは重さをくらべるとらえた。 | <ul style="list-style-type: none"> 「はかる」ということを強く印象づけてはどうか。 板書した方がよい。 | |



4年生の授業風景 (つり合ったぞ…)

- ◎ 一部の児童の活動のみになら
- ◎ 教師は常に児童の活動が生きる素材の準備と教材の開発に努力すること。
- ◎ 毎時間の理科指導の中で、継続的、計画的な学習訓練や基礎的な観察、実験の能力を高めること。
- ◎ 思考活動を促す場や発表を行う場と時間を十分に与えてやること。

二、小学校低学年理科(B)講座

この講座は、低学年理科指導のあり方、及び教材教具の工夫についての研修が中心になるが、その中に授業参観を通じた研修が組み込まれている。

本年度は、福島市立第三小学校の沓沢宏教諭に授業の提供と指導助言をいただき、それをもとに、次のような内容について研究協議を行った。

以上、(A)講座について紹介してきたが、その他の研修内容に、野外研修や観察、実験についての研修が盛り込まれている。



2年生の授業風景 (あっ…できた)

おわりに

以上が講座における授業研究の概要である。研修に参加された先生方は、時間の経過も忘れ、授業研究と理科教具の製作に真剣に取り組んでいた。

今後、一層講座の運営に検討を加え、明日からの授業に役立つよう、魅力ある観察、実験法や授業研究法の開発に努めていきたい。

- ◎ 授業参観を通じた研修
- ◎ 参観する授業について授業のねらいや観察の視点などについて理解を深める。
- ◎ 主として、低学年理科指導のあり方という観点から、授業のねらいと指導過程とのかわり、教材と児童の実態とのかわりなどについて観察する。
- ◎ 授業参観後、授業のねらい、教材の提示の工夫、児童の反応などについて全体で話し合い、次のような点を確認した。
- ・低学年においては、特に児童の興味関心に支えられた学習活動が展開されるようにしなければならない。
- ・児童の考え方は素朴であり、多様である。このような児童の考えを大切に引き上げ、それらを組織していくことによって、児童の学習が深められる。